

大阪株式取引所條例

創立証書
定款
申合規則



株式 取引所條例

第一章

株式取引所創立及ビ開業ノ事

第一條 株式取引所ハ株式仲買人ノ集會シテ日本政府ノ諸公債證書

及ビ日本政府ノ條例ヲ遵奉シ發行シタル銀行并ニ諸會社ノ株券等
ヲ賣買取引スル所ナリ而シテ之ヲ創立セントスルモノハ其創立願
書ヘ其地方長官ノ奥書ヲ受ケ之ヲ大藏省ヘ差出シ大藏卿ノ允許ヲ

請フベシ

第二條 此條例ヲ遵奉シ株式取引所創立スルニハ其發起人少クトモ
十名以上ニシテ其資本金額ハ二十萬圓以上タルベシ而シテ其資本
金總高ノ半數以上ニ當ル金額ヲ右發起人總員コテ出スベシ

一 第三條 大藏卿ハ此創立願書ヲ受領シテ其許可スヘキヤ否ヲ考案シ

二　或ハ之ヲ許可シ或ハ之ヲ許可セザル事アルベシ

第四條 発起人右創立許可ヲ受クルニ於テハ諸般ノ規程ヲ議定シテ
創立證書及ビ定款申シ合セ規則各二通ヲ製シ株主一同記名調印ノ
上地方長官ノ奥書證印ヲ受ケ之ヲ大藏省へ差出スベシ

但創立證書及ビ定款等ハ創立許可ヲ得タル日ヨリ遅クトモ三ヶ月間ニ差出スペシ若シ右期限内ニ差出サレルトキハ其許可ハ無効ニ屬スベシ

第五條 右創立證書及ビ定款申シ合セ規則ハ左ノ主旨ニ從ヒ各取引所ノ便宜ニ依テ之ヲ製定スヘシ然レドモ必ス此條例ノ旨趣ニ抵觸スルヲ得ザルベシ 創立證書ハ取引所ヲ創立スルニ付株主一同決定シタル綱領ノ條件及ビ其責任ノ有限或ハ無限有限責任トハ負償却ノ義務ニ於テ該取引所ノ株券限り或ハ其株券ノ二倍等其限ア

ルヲ云ヒ無限責任トハ株主一同相連帶シテ各自資力ヲ竭スニ至ルヲ云フヲ明記シ必ズコレヲ遵守踐行スベキ旨ヲ政府ニ對シ保證スルモノナリ 定款ハ取引所ヲ創立スルニ付株主一同其取引所ノ便宜ヲ商量決定シテ互ニ相確守スベキ約束條款ヲ記載スル者ナリ 申合セ規則ハ賣買取引ニ付賣買主雙方ノ間ニ於テ取引所ニ對シ確守スベキ規程ヲ記載スルモノナリ

第六條 大藏卿ハ右創立證書及定款申合規則ヲ檢按シテ不都合ナント思考スルニ於テハ之ニ奥書證印ヲ加ヘ免狀ト共ニ之ヲ其取引所ニ下付シテ開業ヲ許スベシ

但爾后取引所ノ都合ニヨリ其創立證書及定款申合規則ヲ改正加除セントスルトキハ其時々大藏卿ノ認許ヲ受クベシ

三 第七條 取引所ハ開業前ニ於テ其營業保證ノ爲メ資本金高ノ三分二

四

以上ニ當ル現金又ハ公債証書(大藏省ヨリ指定スル價格ヲ以テ)ヲ大
藏省ニ差出シ預置クベシ

但シ開業免狀ヲ得タル後滿五ヶ月ニ至リ猶本文ノ手續ヲナサズ
又ハ開業セザル事アル時ハ其免狀ハ取消タルベシ

第八條 取引所ハ開業ノ日ヨリ滿五ヶ月ノ間其營業ヲ保續スルヲ得
ベシ右満期ニ至リ尙ホ營業セント欲スルトキハ更ニ允許ヲ受クヘ
シ

第九條 取引所ニ於テ開業免狀ヲ受ケタル上ハ其免狀并ニ創立證書
ノ寫ヲ添ヘ何月何日ヨリ其商業ヲ創ムヘキ旨ヲ新聞紙又ハ其他ノ
方法ヲ以テ世上ニ公告スベシ

第二章

株主并ニ株手形ノ事

第十條 各株主ヨリ入金シタル金額ハ分テ百圓以上一定ノ株式トナ
シ株手形ヲ製シ其株主タルモノヘ之ヲ交付スベシ

第十一條 株主ハ其取引所ノ營業時間ハ何時ニテモ其金員及ヒ諸帖
簿ヲ檢閱スルヲ得ベシ

第十二條 株主ハ何等ノ事故アルトモ其取引所解散ノ期ニ至ラザル
間ハ其株金ヲ取戻スヲ得ズ

第十三條 株主ハ其取引所ノ承認ヲ得タル上其所持ノ株式ヲ賣渡シ
又ハ譲渡シヲスルヲ得ベシ

第十四條 株主タルモノハ其取引所ノ役員ヲザル時間ハ何時ニテ
モ仲買人タルヲ得ベシト雖モ仲買人トナリタル時ハ仲買人ノ規則
ヲ遵守スベシ而シテ賣買上ニ於テハ之ヲ仲買人ト稱スベシ

第三章

仲買人ノ事

第十五條 取引所ノ規定ニ從ヒ相當ノ身元金ヲ差入レ取引所ノ承認
ヲ得テ自カラ株式賣買ノ取引ヲナスモノヲ其取引所ノ仲買人ト稱
スベシ

但シ仲買人ニ於テハ假令他人ノ依頼ヲ受ケ賣買セシモノト雖ド
モ取引所ニ於テハ都テ仲買人ノ賣買シタルモノト看做スベシ

第十六條 仲買人ノ身元金ハ少クトモ百圓以上タルベシ

第十七條 仲買人ハ丁年者ニ限ルベシ且ツ一度身代限ノ處分ヲ受タ
ル者ハ其負債ノ義務ヲ免レタル實證アルニ非サレハ入社ヲ許サ、
ルヘシ

第四章

役員ノ事

第十八條 取引所ノ役員ト稱スルモノハ左ノ如シ

頭取 肝煎

其他支配人書記方計算等ノ名義ヲ以テ役員ヲ定ムルハ取引所ノ便
宜ニ任ス

第十九條 取引所ノ肝煎ハ少トモ五名以上ト定メ株主ノ總會ニ於テ
其取引所ノ規定ニ從ヒ現ニ三十株以上ヲ所持スル株主中ヨリ之ヲ撰
定シ又其肝煎ハ同僚中ヨリ頭取一人ヲ推舉スヘシ而シテ支配人以
下ノ諸役員ハ頭取并ニ肝煎ノ衆議ニ依リ株主又ハ株主外ヨリ之ヲ
選任スヘシ

第二十條 取引所役員ノ在職年限ハ一ヶ年タルヘシ

第二十一條 頭取ハ取引所ノ事務ヲ總轄シ取引所一切ノ責ニ任スヘシ

第二十二條 頭取肝煎ハ其仲買人賣買上ノ差纏ヲ解キ違約者ヲ處分

七 第廿二條

第廿三條 取引所諸役員職務上ノ責任權限等ハ其取引所ニ於テ適當ノ規程ヲ設ケ之ヲ定款中ニ記載スベシ

第五章 一般ノ規程

第卅四條 外國人ヲ取引所ノ株主并ニ仲買人ト爲ス事ヲ得ス

第卅五條 取引所ニ於テ株式賣買取引ヲナス者ハ其取引所ノ承認ヲ經タル仲買人ニ限ルベシ

第廿六條 取引所ニ關係アル政府ノ官吏ハ其取引所ノ株主タルヲ許サズ

第卅七條 取引所ノ役員タルモノハ其取引ニ於テ賣買本人又ハ仲買人トナルベカラズ

第卅八條 取引所ノ役員及ヒ仲買人ハ他ノ株式取引ヲ爲ス會社ノ役

員又ハ仲買人或ヒハ他ノ銀行并ニ諸會社(官許ヲ經タル合本會社)ノ役員タルヲ得ス

第卅九條 取引所ハ其營業ノ爲メ緊要ナル地所家屋ヲ除クノ外地所家屋ヲ所持スルヲ許サス又之ヲ賣買スベカラズ

第三十條 政府ニ於テ賣買ヲ許シタル諸公債證書及ヒ政府ノ條例ヲ遵奉シテ發行シタル銀行並諸會社ノ株券等ノ賣買ヲ除クノ外此取引所ニ於テ一切他ノ物件ヲ賣買シ他ノ事業ヲ營ムベカラズ

第卅一條 取引所ハ第一章第七條ニ掲ケタル營業保證ノ爲メ大藏省ヘ預クベキ公債證書ヲ除クノ外自ラ諸公債證書諸株券等ヲ賣買シ又ハ之ヲ所持スベカラズ

第卅二條 取引所ハ諸證據金ヲ使用スヘカラズ又貸附金ヲナスベカ

十 第卅三條 取引所ニ於テ違約人ヲ處分スルハ其證據金及ヒ身元金ヲ以テ其違約ニ依リ相手方ニ於テ失ヒタル利得ト蒙リタル損害トナ

償ハシムルニ止マルヘシ

第卅四條 取引所ハ其取引所ニ於テ株式等ノ賣買ヲ認許シタル銀行并諸會社及ヒ新立會社ノ株式ヲ賣買スル事ノ依頼ヲ受ルト雖モ其事情ニヨリ之ヲ停止シ又ハ之ヲ許否スルノ權ヲ有ス

第卅五條 取引所ノ諸願伺届又ハ諸證書約定書及往復ノ文書等取引所一般ニ關スル事件ハ頭取肝煎等コレニ記名調印スヘキハ勿論ナレドモ必ス其取引所ノ名ヲ署シ取引所ノ印ヲ捺スヘシ

第六章

賣買取引ノ事

第卅六條 取引所ニ於テ爲ス所ノ賣買取引ハ現場ト定期ノ二様ニ分

チ必ス現物ノ受渡シヲ爲スベシ

但シ三ヶ月ヨリ永キ定期ノ約定ヲナスベカラズ

第卅七條 凡取引所ニ於テ賣買ノ約定ヲナシ其定期ニ係ル者ハ約定金高百分ノ五宛ニ下ヲザル證據金ヲ賣買雙方ヨリ差入ル可シ而シテ其期限中相庭ノ高低等ニヨリテハ追證據金増證據金等ヲ差入シムルコト得ヘシ

第卅八條 約定取引ノ期限ニ至ツテハ其品種ニ依リ記名書替等其他受渡シノ手續ハ政府又ハ諸會社ノ成規ニ照シ之ヲ履行スベシ

第卅九條 約定期限内ニ於テ之ヲ轉賣スルヲ得ベシト雖ドモ其期日ニ至レハ必ス現物ノ受渡ヲ爲スベシ

第四十條 賣買主ニ於テ諸證據金差入レヲ怠リ又ハ期限ニ至リテ其約定ヲ履行セザル者及び私ニ賣買ノ約定ヲ爲シ之ヲ公ニセザルモ

二十
ノ等ハ都テ之ヲ違約人ト爲スヘシ

第七章

手數料ノ事

第四十一條 取引所ニ於テ收領スキベ手數料ハ(賣買雙方ヨリ)其賣買金高現場取引ハ千分ノ一定期取引ハ千分ノ二宛ニ超ユベカラス

第四十二條 手數料ハ其決算ノ時ニ至リ賣買取引ニ關係スル他ノ債主ニ先ツテ之ヲ收受スル事ヲ得ベシ

第八章

検査ノ事

第四十三條 大藏卿ニ於テ要用ト思考スル時ハ何時ニテモ官員ヲ派遣シ或ハ其地方長官ヘ達シテ其取引所ノ業体及ヒ金銀其他諸帖簿等ヲ検査セシムル事アルベシ

第九章

帖簿ノ事

第四十四條 取引所ハ毎日取扱ノ事項ハ勿論金銀ノ出納等凡テ之ヲ詳明正確ニ記載シ且其簿記ノ方法ニ於テ大藏卿ノ差圖アルトキハ其差圖ニ從フベシ

第四十五條 取引所ニ於テ製定使用スル處ノ諸帖簿ハ其名目用法ヲ詳記シ之ヲ大藏卿ヘ届出スベシ

第十章

諸報告ノ事

第四十六條 取引所ハ賣買實際ノ報告及金銀出納表其他役員ノ進退并株主仲買人ノ姓名等大藏卿ノ指令スル處ニ從ヒ時々報告ナナスベシ

第十一章
納稅ノ事

第四十七條 此取引所ハ追テ政府ニ於テ制定施行スル所ノ收稅規則ニ遵ヒ相當ノ稅金ヲ納ムヘシ

第十二章 罰則

第四十八條 取引所ノ役員及株主并仲買人等此條例ヲ犯ス乎又ハ役員タルモノ株主並仲買人ノ此條例ニ背戾シタルヲ不問ニ措キ又ハ背戾セシメタル實証アル時ハ役員并ニ本人トモ其事ノ輕重ニ依リ三十圓ヨリ少ナカラス千圓ヨリ多カラザル罰金ヲ科スベシ

第四十九條 檢査官員ノ命ヲ拒ミ帖簿書類等ヲ差出サルカ又ハ其疑問ニ答辨ヲ爲サ、ル者アルトキハ頭取又ハ其主任者二十圓ヨリ少ナカラス五十圓ヨリ多カラサル罰金ヲ科スベシ

大阪株式取引所創立証書

大坂株式取引所創立證書

明治十一年五月四日大日本政府ニ於テ制定セラレタル株式取引所條例ニ基キ株式取引所ヲ創立シ其商業ヲ經營シ株主一同ノ利益ヲ謀ル爲メ此證書第五條ニ連署シタル者協力結社シテ左之創立證書ヲ取極メ候也

第一條

當取引所ノ總員ハ株式取引所條例ノ趣旨ヲ遵奉シ且取引所定款及申合規則ヲ確守ス可シ

第二條

當取引所ノ名號ハ大坂株式取引所ト稱ス可シ

第三條

此取引所ハ大坂第一大區四小區北濱二丁目十一番地ニ取建可シ

當取引所ノ資本金ハ二拾萬圓ニシテ一株ヲ金百圓ト定メ之ヲ二千株

ト爲シ各自所持スヘキ株數并其屬籍住所姓名ハ左ノ如シ

第五條

株 數	屬 籍	住 所	姓 名
百 五 五 十 株	鹿兒島縣士族	大坂府第三大區三小區 鞍北通壹丁目十一番地	五代友厚
百 五 十 株	大坂府平民	大坂第一大區四小區 今橋二丁目十四番地	鴻池善右衛門
百 五 十 株	京都府平民	大坂第一大區四小區 高麗橋二丁目廿六番地	三井元之助
百 五 十 株	大坂府平民	大坂第一大區九小區 北濱四丁目十三番地	平瀬龜之助
百 五 十 株	大坂府平民	大坂第二大區三小區 鱗谷東之町壹番地	住友吉左衛門
百 五 十 株	大坂府平民	總理代理人廣瀬宰平	

此三 金 三十 千 圓 株	愛媛縣平民	長崎縣平民	笠野熊吉
此三 金 三十 千 圓 株	兵庫縣士族	大坂府平民	備後町四大區八小區 大坂第一大區四小區 西ノ久保櫻川町三番地
此三 金 三十 千 圓 株	東京府平民	東京府平民	山口吉郎兵衛
此四 金 四十 千 圓 株	大坂府平民	東京第六大區一小區 深川福住町四番地	加納次郎右衛門
此四 金 四十 千 圓 株	大坂府平民	東京第七大區二小區 北品川宿百六十八番地	中山信彬
此四 金 四十 千 圓 株	大坂府平民	大坂第一大區九小區 大川町二十五番地	瀧澤榮一
此四 金 四十 千 圓 株	大坂府平民	北濱五丁目升番地	益田孝
此三 金 三十 千 圓 株	兵庫縣士族	大坂第一大區九小區 高麗橋三丁目一番地	井口新三郎
此三 金 三十 千 圓 株	東京府平民	北濱五丁目升番地	熊谷辰太郎
此三 金 三十 千 圓 株	高麗橋三丁目二番地	大坂第一大區九小區 大坂第二大大區三小區 鞍谷東之町八番地	廣瀬宰平

此十 金 千	圓株 大坂府 平民	長崎縣平 民	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	下田 喜平
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	長崎縣平 民	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	松尾 吉郎
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	福岡縣士族	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	吉田 清吉
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	兵庫縣士族	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	本莊 一 行
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	大坂府平民	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	青谷 惟治
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	中島二丁目五番地	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	甲谷 權兵衛
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	大坂第三大區三小區	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	鎌田平右衛門
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	大坂第二大區四小區	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	岩本 榮藏
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	安堂寺橋通二丁目十一 番地	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	川上 利助
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	大坂第一大區五小區	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	木原 忠兵衛
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	備後町一丁目廿八番地	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	小野 重太郎
此十 金 千	圓株 大坂府 平民	大坂第一大區五小區	肥前國彼杵郡第一 一大區四小區	高麗橋二丁目廿六番地

此十	金千株	圓株	京都府平民	京都下京第五區 辨慶石町五十番地	竹原彌兵衛
此十一	金千株	圓株	大坂府平民	大坂第三大區一小區 土佐堀壹丁目四番地	山田崩郎
此十二	金千株	圓株	大坂府平民	大坂第一大區五小區 瓦町一丁目廿番地	川田彦三郎
此十三	金千株	圓株	長野縣士族	東京第三大區四小區 飯田町三丁目二十七番地	小松章
此十四	金千株	圓株	岐阜縣士族	岐阜縣下第五大區二小區 大垣町十四番地	市川武真
此十五	金九百株	圓株	京都府平民	京都上京第十九區 龜甲屋町六百四番地	澤田政七
此十六	金八百株	圓株	大坂府平民	大坂第四大區四小區 堂島裏二丁目十番地	岡田元造
此十七	金六百株	圓株	大阪府平民	大阪第一大區五小區 本町一丁目十六番地	辻宗兵衛
此十八	金六百株	圓株	大阪府平民	大阪第一大區五小區 安土町二丁目卅三番地	垣內清右衛門
此十九	金六百株	圓株	大阪府平民	大阪第一大區九小區 高麗橋三丁目六番地	高野榮七
此二十	金六百株	圓株	大阪府平民	大坂第一大區五小區 大坂第一大區五小區 二丁目廿番地	逸身左一郎
此二十一	金六百株	圓株	大阪府平民	大坂第一大區五小區 大坂第一大區五小區 二丁目廿番地	
此二十二	金六百株	圓株	大阪府平民	大坂第一大區五小區 大坂第一大區五小區 二丁目廿番地	

此五 金 五百	此五 金 五百	此五 金 五百	此五 金 五百	此五 金 五百	此五 金 五百	此六 金 六百	此六 金 六百	此六 金 六百	此六 金 六百	此六 金 六百	此六 金 六百
圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株	圓株
和歌山縣平民	大坂府平民	大坂府平民	大阪府平民	大阪府平民	大阪府平民	大坂府平民	大坂府平民	大坂府平民	大坂府平民	大坂府平民	大坂府平民
堺第一大區二小區 備後町二丁目三十三番地	大坂第一大區五小區 大坂第三大區四小區 阿波座上通一丁目升七番地	大坂第一大區九小區 大坂第一大區九小區 伏見町五丁目升七番地	大坂第一大區九小區 大坂第一大區九小區								
岩田又右衛門	小田平兵衛	日下萬兵衛	早川小三郎	富子助治郎	金澤富三郎	中原吉兵衛	永田彥作	松浪宗七	山口仁兵衛	齋藤清太郎	七

八此四金四百圓株

大坂府平民
鰐谷東ノ丁八番地

尾崎芳治郎

此四金四百圓株

大坂府平民
大坂第三大區三小區

金澤卯右衛門

此四金四百圓株

大坂府平民
江戸堀南通三丁目十三番地

高木五兵衛

此四金四百圓株

長崎縣平民
酒屋町五百七十八番地

松田源五郎

此三金三百圓株

堺縣平民
鰐谷東ノ町十番地

久保盛明

此三金三百圓株

大坂府平民
富島町十七番地

香邨文之助

此三金三百圓株

大坂府平民
大坂第一大區九小區

平瀬捨松

此三金三百圓株

大坂府平民
今橋五丁目十八番地

福岡宗兵衛

此三金三百圓株

大坂府平民
大坂第一大區三小區

中村泰太郎

此三金三百圓株

大坂府平民
鈎鐘町二丁目卅六番地

辻田保次

此二金二百圓株

大坂府平民
今橋三丁目六番地

石原源七

此二金二百圓株

大坂府平民
南本町四大區八小區

多田孫七郎

此二金二百圓株

大坂府平民
大川町廿八番地

川勝榮七郎

此二金二百圓株

大坂府平民
大坂第一大區九小區

津戶孫七郎

此二金二百圓株

大坂府平民
北久太郎町三丁目六番地

黒川幸七郎

此二金二百圓株

大坂府平民
玉屋町二番地

本田理平

此二金二百圓株

大坂府平民
西道頓堀四丁目八番地

菅井貞助

此二金二百圓株

大坂府平民
安土町二丁目四十四番地

布井半兵衛

此二金二百圓株

大坂府平民
大坂第一大區六小區

三木末七郎

此二金二百圓株

大坂府平民
南久太郎町二丁目四十六番地

塙本常藏

九

此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株
此二金三百圓株

大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民
大坂府平民

玉屋町廿八番地
大坂第一大區八小區
大坂第一大區八小區
大坂第一大區七小區
大坂第一大區七小區
大坂第一大區七小區
大坂第一大區七小區
大坂第一大區七小區
大坂第一大區七小區

大坂第一大區三小區
大坂第一大區五小區
大坂第一大區五小區
大坂第一大區六小區
大坂第一大區六小區
大坂第一大區六小區
大坂第一大區六小區
大坂第一大區六小區
大坂第一大區六小區

此二金二百圓株	大坂府平民	船大工町廿七番地
此二金二百圓株	大坂府平民	大坂第一大區三小區
此二金二百圓株	大坂府平民	大坂第二丁目九番地
此二金二百圓株	長崎縣平民	鹽町四丁目九番地
此二金二百圓株	大坂府平民	大坂第三大區一小區
此二金二百圓株	大坂府平民	土佐堀二丁目九番地
此二金二百圓株	長崎縣平民	大坂第二大區四小區
此二金二百圓株	本五島町六百三十六番地	北村松之助
此二金二百圓株	大坂府平民	高麗橋一大區一小區
此二金二百圓株	大坂府平民	大坂第一大區六小區
此二金二百圓株	大坂府平民	北久寶寺町一丁目四番地
此二金二百圓株	大坂府平民	大坂第三大區八小區
此二金二百圓株	大坂府平民	幸町通三丁目六番地
此二金二百圓株	大坂府平民	大坂第三大區三小區
此二金二百圓株	大坂府平民	北久太郎町二丁目十九番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大坂第一大區六小區
此一金一百圓株	大阪府平民	瓦屋町三番丁六十五番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大阪第一大區五小區
此一金一百圓株	大阪府平民	淡路町二丁目九番地
此一金一百圓株	大阪府平民	立賣堀北通五丁目十一番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大坂第三大區一小區
此一金一百圓株	大阪府平民	江戸堀上通二丁目十七番地
此一金一百圓株	大阪府平民	伊川良之助

此一金一百圓株	大坂府平民	大坂第三大區三小區
此一金一百圓株	大阪府平民	鞆上通三丁目七番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大坂第四大區三小區
此一金一百圓株	大阪府平民	真砂町十三番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大坂第一大區九小區
此一金一百圓株	大阪府平民	伏見町五大丁目廿一一番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大阪第二丁區三小區
此一金一百圓株	大阪府平民	鹽町通一丁目廿五番地
此一金一百圓株	大阪府平民	北久太郎町二丁目十九番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大坂第一大區六小區
此一金一百圓株	大阪府平民	瓦屋町三番丁六十五番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大阪第一大區五小區
此一金一百圓株	大阪府平民	淡路町二丁目九番地
此一金一百圓株	大阪府平民	立賣堀北通五丁目十一番地
此一金一百圓株	大阪府平民	大坂第三大區一小區
此一金一百圓株	大阪府平民	江戸堀上通二丁目十七番地

四十

此一金百圓株	大坂府平民	大坂第一大區八小區 南本町四大丁目十九番地	村上嘉兵衛
此一金百圓株	大坂府平民	大坂第一大區九小區 大阪第一大區平野町四丁目十九番地	松本重太郎
此一金百圓株	大坂府平民	北濱五丁目升四番地	大谷嘉平
此一金百圓株	大坂府平民	大坂第一大區五小區 備後町二丁目六十番地	蒲田清藏
此一金百圓株	大坂府平民	大坂第一大區八小區 大坂第一大區六小區 北久太郎町一丁目升九番地	稻田佐七郎
此一金百圓株	大坂府平民	大坂第三大區六小區 立賣堀南通五丁目九番地	森岡忠兵衛
此一金百圓株	鹿兒島縣平民	大坂第三大區六小區 大阪第三大區三小區 鞍下通一丁目十三番地	中村喜作
此一金百圓株	大坂府平民	大坂第一大區三小區 伊勢町升三番地	水野善九郎
此一金百圓株	大坂府平民	大坂第一大區四小區 堂島中二丁目三十七番地	井藤儀兵衛
合計	株數二千株	此金貳拾萬圓	濱崎伊七
			百三十五人

第六條

當取引所ノ株主ハ其責任ヲ保證有限ト定ムヘシ故ニ若シ取引所ノ鎮店又ハ非常ノ損害ヲ受ケタル場合ニ際シテハ其負債及ヒ右ニ關シタル入費ヲ償辨スル爲メ現在所持ノ株高二倍迄ヲ負擔シ更ニ出金スヘシ

第七條

五十當取引所ノ株主及仲買人ハ内國人ニ限ルヘン

右ニ掲ル條款ハ株主一同必ス遵守踐行スヘキ證據トシテ爰ニ姓名ナ
六 自記シ調印致シ候也

明治十一年七月十日 株主姓名印

前書之通相違無之候也

明治十一年七月十一日 大坂府知事渡邊昇印

右大坂株式取引所ノ創立證書ハ正確ト認メタルニ付其證據トシテ爰ニ
奥書調印シ併セテ官印ナ鈐シ以テ下付スルモノ也

明治十一年七月十九日 大藏卿大隈重信印

大藏省印

大阪株式取引所定款

大坂株式取引所定款

明治十一年六月十七日大藏省ノ允准ヲ得當株式取引所ヲ創立シタルニ付其營業ノ繁盛ヲ謀リ爰ニ株主一同協議決定スル條々左ノ如シ

第一章

營業ノ事

第一條 當取引所ハ政府ノ諸公債証書及政府ノ條例ヲ遵奉シテ發行シタル銀行又ハ諸會社ノ株券等賣買ノ取引ヲ爲ス所ナリ而シテ當取引所ニ加入シ株主ニ列スル人々ハ創立證書及ヒ此定款並申合規則ニ承諾セシ證據トシテ必ス記名調印ス可シ

第二條 當取引所ニ於テ賣買取引ヲ爲スヲ得ルハ前條ニ掲ケタル種類ニシテ必ス賣買ヲ允許セラレタルモノニ限ル可シ且之ヲ賣買取引スル規程ハ必ス此定款並ニ申合規則ニ照準履行ス可シ

二 第三條 當取引所ニ於テ執行スル賣買取引ノ事務ハ此定款並申合規則ニ從ヒテ之ヲ頭取及肝煎ニ委任ス可シ故ニ頭取肝煎ハ其賣買ノ約定ヲ監護シ取引ヲ確實ナラシメ且取引所一切ノ責ニ任スヘシ

第四條 政府又ハ政府ノ條例ヲ遵奉シタル銀行及ヒ諸會社ヨリ新タニ發行スル所ノ諸公債証書又ハ諸株式等ヲ賣買セント欲スルニ當テハ頭取肝煎ハ篤ク其理由事實ヲ探知シ且ツ臨時集會シテ決議施行スヘシ

但本文ノ場合ニ際シテハ其賣買ヲ認許スルニ要用ト思考スル諸証書報告類ヲ要求シテ之ヲ其會議ニ付シ又發行ノ事由ニ就キ實際ノ業務ヲ探偵シ或ハ依頼者ノ請求ニ依リテハ検査役員ヲ派遣スル等都テ頭取肝煎ノ協議ニ任スヘシ

第五條 當取引所營業年限滿期ノ上尙永續ヲ望ムトキハ更ニ允許ヲ

請ヒテ此業ヲ接續スヘシ

第二章

資本金ノ事

第一條 當取引所營業ノ確實ナルヲ保証スルタメ資本金ノ三分ノ二ヨリ少カラサル高ハ日本政府ノ公債証書ニ換ヘ之ヲ大藏省ニ預ケ其三分ノ一ヨリ多カラサル高ヲ以テ取引所ノ所用ニ充ツベシ

第二條 當取引所ノ資本金ハ各自受持株高ノ三分二以上ニ當ル金高ヲ開業前日マテニ入金シ其殘高即所用金ハ頭取肝煎ノ報知ニ應シ之ヲ出金シ了リ其株高ニ當リタル株式券狀ヲ渡ス可シ

第三條 株主此開業前ノ入金ヲ怠レハ頭取肝煎ハ速エ之ヲ除名シテ他ノ入社人ヲ募ルヘシ又其殘額ノ入金ヲ怠ル者ハ入金濟ノ高ナ併テ競賣セシメ買得人ナシテ其欠員ニ充ツヘシ

四 第四條

右開業前ノ入金及ヒ殘額ノ入金ヲ怠ル者アルニ付買得人ヲ
募ルモ之レニ應スル者ナキ時ハ他ノ株主ニ割合ヒ其持株ヲ増加セ
シメテ全額ニ充ツヘシ

但此場合ニ於テハ既濟ノ入金ハ之ヲ沒收スヘシ

第五條 當取引所ノ資本金高條例ノ制限ニ牴觸セサル迄ナ增減スル
ハ株主ノ集會ニ於テ之ヲ決定スベシ而シテ其増減ノ許可ヲ得テ之
ヲ施行スルノ方法モ亦株主ノ衆議ニ因ルベシ

第三章

役員ノ事

第一條 當取引所ノ役員ト稱スル者左ノ如シ

頭取 一人

副頭取 一人

肝煎 三人

支配人 一人

副支配人 一人

書記方 三人

勘定方 三人

簿記方 六人

右ノ如ク定ムト雖ニ營業ノ都合ニ依リ尙之ヲ増減シ又ハ兼
攝代任スルヲアルヘシ而シテ此役員ハ其職務ニ對シ取引所
ニ於テ定メタル給料ヲ受クベシ

第二條 當取引所ノ肝煎ハ投票ヲ以テ三十株以上ヲ所持シタル株主
ノ中ヨリ擇舉シ其人員ハ五名ト定ムベシ而シテ擇舉ノ初集會ハ發
起人ノ差定ムル時日場所ニ於テスベシ

六

第三條 此擇舉ニ應シタル肝煎ハ同僚ノ内ニ於テ投票ヲ以テ頭取一名ヲ擇任スヘシ

第四條 頭取肝煎ノ擇舉ハ毎年一月ノ中旬ニ於テ株主一同取引所ニ集會シ投票ヲ以テ定ムヘシ而シテ其集會ノ時日ハ少ク凡十日以前ニ在職ノ頭取ヨリ之ヲ報知スヘシ

但シ株主ノ居所遠路隔絶若シクハ事故アリテ出席シ難キ時ハ委任狀ヲ與ヘタル名代人ヲ出スヘシ

第五條 此投票ヲ以テ擇舉セラレタル頭取肝煎ハ其上任ノ日ニ當リ各誓詞ヲ爲シ取引所ノ爲メ能ク規則ヲ奉シ制限ヲ守リ詐偽輕忽等ノ舉動ナキ旨ヲ表シ之ヲ取引所ニ藏置スヘシ

第六條 頭取肝煎ハ其所有ノ株式中三十株丈ケノ券狀ヲ當取引所ニ預ケ置クヘシ取引所ハ禁受授ノ印ヲ押シタル保護預リ証書ヲ渡ス

ヘシ

第七條 頭取肝煎ノ在職期限ハ一ヶ年間トス故ニ衆議ニ因リ放免スルノ外ハ必ス勤務スヘシ若シ期限中不時ノ欠員アルキハ仍ホ同僚中及ヒ株主ノ衆議ヲ以テ之レカ代任又ハ補員ヲ命スヘシ

第八條 肝煎中ヨリ一名ツ、月番ヲ以テ検査掛チ置キ常ニ取引所營業ノ景況及セ金銀出納ノ事務ヲ點檢スヘシ

第九條 當取引所支配人以下ノ役員ハ頭取肝煎ノ衆議ヲ以テ株主ノ中又ハ社外ノ人ヨリ適宜ニ之ヲ擇任スヘシ而シテ奉職期限ハ一ヶ年間トス其重年勤續ヲ命シ或ハ期内放免スルモ亦頭取肝煎ノ衆議ニ由ルヘシ

第四章

役員職務上ノ責任權限ノ事

八 第一條 頭取ハ取引所ノ事務ヲ總轄シ他ノ役員ヲ指揮シ取引所一切ノ責ニ任スヘシ

第二條 頭取ハ肝煎分掌ノ事務ヲ定ムル權アルヘシト雖トモ新タニ事ヲ起シ或ハ既濟ノ規程ヲ改正シ又ハ之ヲ廢止スル等ノ事ノ如キハ肝煎ノ協議ニ由ラサレハ之ヲ專決スヘカラス

第三條 副頭取ハ常ニ頭取ノ事務ヲ翼成シ時トシテ其代理ノ任ニ當ルヘシ

第四條 肝煎ハ衆議ヲ以テ支配人以下ノ役員ヲ撰任シ其分掌ノ課程權限給料等ヲ定メ社中差縛ノ事ヲ判決シ金錢ノ出納ヲ管理シ凡百ノ施設上ニ付其順序ヲ立テ議案ヲ草シ之ヲ頭取ニ申陳シ社中一般ノ疑問ニ答辨シ又ハ社中ノ衆議ヲ取ランカ爲メ臨時集會ヲ催スノ權アルヘシ

第五條 肝煎ハ支配人以下ノ役員ヲ撰定スルニ付身元引受人ヲ約スヘシ而シテ是等ノ役員ニ於テ規則ヲ犯スカ或ハ其事務ヲ怠ル等ノ事アルキハ相當ノ懲戒ヲ行ヒ又ハ引受人ニ迫リテ其償ヲ要求スヘシ

第六條 肝煎ハ仲買人ノ入社退社ヲ許シ又ハ拒止シ及ヒ申合規則リ照シテ其事務ヲ處分スヘシ

但是等ノ處分ニ於テ第七條ノ事情アルニアラサレハ其決ヲ頭取ニ取りテ後ニ施行スヘシ
第七條 肝煎ハ其同僚中又ハ頭取ニ於テ職任不適當ノ行爲アルトキハ株主臨時會議ヲ催シ無名投票ヲ以テ三分ノ二以上ノ説ニ從ヒ之ヲ退職セシム可シ

第一條 株主ハ取引所ノ本主ニシテ入金高ニ應シタル株券ヲ所持シ
株數相當ノ權利ヲ有シ營業上ノ損益ヲ負擔スル者ナルカ故ニ時々
ノ景況ニ着目シ金錢出納及諸帳簿等ノ檢閱ヲ求ムルノ權アリト雖
凡賣買ノ驅引ニ關スル帳簿ニテ未決算中ノモノハ擔當人ノ外ハ覽
閱ヲ許サレルコアルベシ

第二條 株主ハ頭取肝煎ノ事務取扱上ニ於テ不適當ノ事アルト認ム
ルキハ何時ニテモ肝煎ノ議ニ加ハリテ之ヲ辨論スルヲ得ヘシ

第三條 株主ハ社中ノ總會ニ於テ發言投票ヲ爲スニ當リ其所持ノ株
數十箇迄ハ壹株毎ニ一說十壹株以上百株迄ハ五株毎ニ一說百壹株
以上ハ十株毎ニ一說ナ吐クノ權利アルヘシ

第四條 役員ニアラサル株主ハ肝煎ノ承諾ヲ經テ賣買本人又ハ仲買

人ト爲ルコト得ヘシ而シテ其初次請求ノ手續ハ別ニ證人ヲ要セズ
ト雖トモ自餘ノ諸件ハ一般仲買人同様タルヘシ且賣買上ニ於テハ
都テ之ヲ仲買人ト稱スヘシ

第五條 株主ハ何等ノ事故アルモ取引所解散ノ期ニ至ラサル時間ハ
其株金ヲ取戻スコト得ズ

第六條 株主ハ第六章ノ手數ヲ了ルニアラサレハ其所持ノ株式ヲ讓
與スヘカラズ又其株式ヲ質入抵當トナシタル者ハ其質入トナシ
ル時間中其株高ニ對シタル發言投票等ノ權利ヲ失フベシ

第六章

株式讓引及質入抵當ノ事

第一條 當取引所ノ株式ハ頭取肝煎ノ許可ヲ受ケ當取引所ノ簿冊ニ
引合セタル上ニテ之ヲ賣買讓與スルコト得ヘシ尤モ其株式券狀ノ

書替ヲ爲サル時ハ右取引所ノ損益ハ其株式券狀ノ名前人ニ負擔セシムヘシ

第二條 定式集會ノ前後十日ヨリ多カラサル時間ハ株式ノ賣買授受ヲ停止シ株式帳ノ書改ヲ爲サルヘシ

第七章

仲買人ノ事

第一條 當取引所ニ於テ自ラ株式賣買取引ヲ爲シ又ハ他人ノ依頼ヲ受ケテ仲買トナリ之ニ從事スル者ヲ以テ總テ仲買人ト稱スヘシ
此仲買人ハ當取引所ニ於テ定メタル規則ヲ確守スヘシ

第二條 當取引所ノ仲買人タラント欲スル者ハ書面ヲ以テ肝煎ニ申出ツヘシ此書面ニハ姓名宿所年齢等ヲ詳記シテ之レニ調印シ且二名以上証人ノ連印ヲ要スヘシ

第三條 此書面ヲ落手セハ肝煎ハ會議ニ於テ其加入ノ可否ヲ決議シ差支ナシト思量スルトキハ一週日間之ヲ取引所ニ出張シ他ノ故障ナキヲ認メ身元金ヲ受取り入社ヲ許スヘシ

第四條 仲買人ノ身元金ハ一名毎ニ百圓ヨリ五百圓マテトス此身元金ハ取引所ニ於テ使用スルコナキカ故ニ利息ハ拂ハサルヘシ

第五條 仲買人入社ノ期限ヲ一ヶ年トス故ニ接續入社セントスルトキハ期限三週日前ニ肝煎ヘ申出スベシ肝煎ハ之ヲ受ケテ一週日間取引所ニ張出シ置キ他ノ故障ナキヲ認メテ之ヲ許スヘシ

第六條 期限退社及臨時退社ヲ望ム件モ前條ノ手續ニ據リ當取引所ニ連帶シタル勘定其他ノ關係ナキヲ認メタル後ハ其退社ヲ許シ身元金ヲ返付シテ証人ノ責任ヲ解クヘシ

第七條 仲買人若當取引所又ハ社中ノ各人ニ對シ不正ノ所業アルヲ

以テ之ヲ除名スヘキ場合ニ至リテハ肝煎ノ衆議ニヨリ其誼人ナシ
テ相當ノ過怠金ヲ差出サシムルヲアルヘシ

第八條 凡ソ違約人ノ處分ヲ受ケタル仲買人ハ其負債ノ務集ナリ
タル以上一般ノ規則ニ従ヒ更ニ仲買人タルヲナ乞ヒ得ヘシ

八 第章

仲買人手代ノ事

第一條 仲買人タルモノ其名代トシテ手代ヲ取引所ニ出サント欲ス
ルトキハ書面ヲ以テ之ヲ肝煎ニ申出ツヘシ此書面ニハ其手代ノ宿
所姓名及ヒ取扱フヘキ事務金銀取引ノ權ノ有無等ヲ細記スヘシ

第二條 肝煎ハ此書面ヲ一週日間取引所ニ張出シ置キ他ノ故障ナキ
ヲ認メタル上衆議ヲ以テ之ヲ許スヘシ此許諾ヲ得サル前ハ決シテ
手代ヲ取引所ニ出スヘカテス

第三條 手代ノ姓名ハ其主人ノ姓名ト共ニ取引所ニ掲示シ其主人ト

同一ノ遇待ヲ爲ス可シ故ニ其委任ノ權ヲ解カントスルトキハ直ニ
書面ヲ以テ肝煎ニ報知スヘシ肝煎ハ其報知ヲ取引所ニ掲示シ其姓
名ヲ削去スヘシ

第四條 其主人ノ除名セラル、モノハ手代ノ任隨テ消滅スヘシ若シ
手代違約人トナリ取引ヲ爲スコト禁セラル、凡其主人ニ於テ違約
ノ辨償ヲ爲シ了リタルキハ主人ハ尙ホ仲買人タルヲナ得ベシ

第九章

社中差縫取扱方ノ事

第一條 社中仲買人ノ間取引上ニ於テ起リタル差縫レハ他ノ仲人ヲ
命シテ之ヲ和解セシムヘシ若シ和解ニ至ラサレハ肝煎ノ衆議ヲ以
テ可成丈ケ之レヲ和解スルヲナ勉ムヘシ

第二條 肝煎ハ社外ノ人ト社中ノ人トノ間ニ起リタル差縫レニハ一切關係スルコナカルベシ尤モ社中ノ仲買人社外ノ人ノ爲メニ仲買

ヲ爲シ退社逃亡死去等ノコアル場合ニ當リ其賣買本主ト相手タル社中ノ仲買人トノ間ニ差縫レアルトキハ此限ニアラサルヘシ

第三條 此場合ニ於テ社外ノ賣買本主ヨリ肝煎ノ處決ヲ請求セレバハ其賣買本主ヲ社中ノ仲買人同様ニ見做シ之レヲシテ肝煎ノ處決ヲ守リ決シテ違背セサルヘキ旨ノ誓詞ヲ爲サシメ然ル后之レカ處決ヲ爲ス可シ

第四條 取引所ニ於テ取結ヒタル取引約定ハ他ノ依頼ヲ受ルト否トチ論セス都テ其仲買人ノ賣買ト看做シ之ニ關スル一切ノ責ハ皆仲買人ニ歸スベシ故ニ取引所ニ於テハ依頼ヲナシタル本人ト直接ノ關涉ヲ負フノ理アルコトナシ

第五條 仲買人賣買取引ノ事ニ付テ取引所ニ向ヒ申陳スヘキ事件ハ本人親カラスルカ又ハ豫メ肝煎ノ承諾ヲ經タル手代人ニ限ルヘシ

第十章

役員禁例ノ事

第一條 取引所ノ役員タル者ハ賣買取引ノ本人又ハ仲買人トナル事
チ禁ス

第二條 取引所ノ役員ハ賣買ノ證據金及ヒ仲買人ノ身元金ヲ使用スヘカラス其他ノ有金ヲ私用ニ供スヘカラス且預リ金其他ノ證書共取引所ノ印証ナキ各自一判ノ證書ヲ用ユルヲ禁ス

第三條 取引所ノ役員ハ取引所ノ名號ヲ假冒シテ商業ヲ營ミ自己ノ利益ヲ謀ルヘカラス若シ之ヲ犯スルハ何様ナル事情アリビ不正ノ所業ト爲シ肝煎又ハ株主ノ衆議ニ依テ相當ノ處分ヲ爲スヘシ

第四條 取引所ノ頭取肝煎ハ故意ニ出タル不適當ノ處爲アリテ其取
計ヨリ損毛ナ生スルキハ自ラ之ヲ償辨スヘシ

第十一章

株主集會ノ事

第一條 肝煎撰舉及ヒ定款並申合規則ノ加除改正等凡ソ社中一般ニ
關係シタル事件ハ總會ニ於テ評議決定シ三日以内ニ之ヲ大藏省へ
申稟スヘシ

第二條 總會ノ決議ハ衆說ヲ採ル故ニ病氣其他已ムヲ得サル事故ア
リテ欠席スル人々ハ必ス委任狀ヲ授ケタル代人ヲ出シ而シテ此代
人ハ社中ノ人ヲ用ユルヲ要ス若代人ヲ出サス決議ノ後ニ至リ更ニ
異論ヲ發スルモノ一切採取セサルヘシ

第三條 株主遠隔ノ地方ニ住スルカ又ハ旅行ヲ爲シテ議事招集ノ期

ニ會シ難キ懸念アル片右二條ノ場合ニ於テ差出スヘキ代人ヲ豫メ
委任シ之ヲ取引所ニ届ケ置ヘシ

第四條 凡ソ總會ハ之ヲ定期臨時ノ二様トス定期總會ハ毎年一月七
月ノ両度之ヲ開キ臨時總會ハ頭取肝煎ノ適當ナリト思考スル場合
ニ於テハ何時ニテモ招集スルヲチ得可シ又人員十名ニ下ラス其所
持ノ株數當取引所總株ノ五分一ニ下ラサル株主等ヨリ書面ヲ以テ
臨時總會ノ請求アルニ於テハ何時ニテモ招集セサルヲチ得サルヘ
シ

第五條 右ノ請求書ニハ此總會ヲ要スル事件目的ヲ記載ス可シ若シ
頭取肝煎ニ於テ十五日間以上謂ハレナク其手續ヲ怠リタル時ハ請
求人自ラ之ヲ招集スルヲ得ヘシ

第六條 總會ノ議長ハ頭取之ニ當ルヲ常例ト爲スト雖ニ肝煎又ハ株

主ノ請求ニ依テハ別ニ之ヲ撰擧スルヲアルヘシ

第十二章

純益金配當ノ事

第一條 每年兩度其半季内ニ取立タル手數料ノ合高其他ノ利益ヲ合算シ營業上諸般ノ費用ヲ引去リタル殘高及公債證書ノ利息ヲ以テ純益金ト爲シ株高ニ應シテ之ヲ割渡ス可シ

但役員ノ給料及賞與配當金等ノ割合ハ營業實際ノ景況ニ依リ株主總會ノ衆議ヲ以テ定ム可シ

第二條 此割合ハ毎年兩度ノ定期集會ニ於テ頭取肝煎ヨリ半季營業ノ報告ヲ明細ニ爲シタル上ニテ分賦スヘシ

第三條 此純益金壹ヶ年壹割(即チ百分ノ十)以上ニ當ルキハ割賦高ノ十分ノ一ヲ引去リ之ヲ積立テ以テ非常ノ準備金ト爲スヘシ

但此積立金ノ高資本金額ノ貳割ニ充ルノ後ハ之ヲ積立ルニ又ハ之ヲ割賦スルニ其時ノ決議ニ任スヘシ

第四條 此準備金ハ頭取肝煎ノ決議ヲ以テ公債証書ニ換置クノチ得

ヘシ

第五條 若當取引所ニ損失アリテ資本金不足ヲ生スルキハ頭取肝煎ヨリ其額未計算ヲ株主一同ニ公告シ爾後得ル所ノ利益ヲ以テ其不足ヲ補ヒ了ル迄ハ配當ヲ止ルコアルヘシ

第十三章

報告並検査ノ事

第一條 公債証書株式等日々建相場ハ之ヲ取引所ニ掲示スヘシ

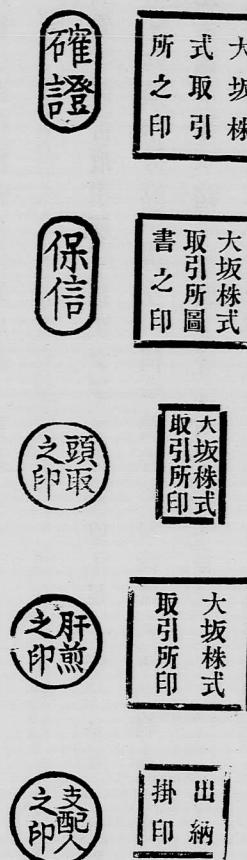
第二條 頭取肝煎ハ取引所ノ簿記ヲ明瞭ニシ日表月表年表ヲ製シ毎月及毎半季ニテイテ之ヲ大藏省ニ申報スヘシ故ニ各株主ノ檢閱ヲ

第十四章

望ムキハ何時ニテモ差支ナク開示スヘシ

印章及簿記日表記録等ノ事

第一條 取引所ニ用ユル印章ハ左ノ各類ノ如シ



第二條 取引所ノ印章並頭取以下諸役員ノ印章ハ其印鑑ヲ大藏省ニ
差出し改刻スル件ハ時々之ヲ申陳スヘシ

第三條 取引所ノ簿記日表其他ノ計算書類ハ極メテ精確簡明ノ法ヲ

要スルヲ以テ別ニ記程表式ヲ定メ其主任者ヲシテ一切之ヲ遵行セ

シムヘシ

第四條 取引所ノ定款申合規則及其他ノ規程肝煎選舉社中集會等ノ

諸件ハ一切之ヲ記録シ頭取肝煎記名調印シテ以テ後日ノ証據參觀

ニ備フヘシ

第五條 官府ニ對スル諸願届伺又ハ官私ニ對スル証書約定書往復文
書等ニ至ル迄當取引所ノ稱號ヲ用ヒ社印ヲ押シ頭取肝煎ノ中ニテ

之ニ記名調印スヘシ

第十五章

規則改正ノ事

第一條 此定款ハ株主ノ衆議ニ依リ大藏省ノ許可ヲ得テ之ヲ増減更

正スルトアルヘシ

四十二 右ノ條々ヲ取極メタル証據トシテ各姓名ヲ記シ調印致シ候也

株主

明治十一年七月十日

姓名印

前書之通相違無之候也

明治十一年七月十一日

大坂府知事渡邊昇印

右定款ノ件々ハ之ヲ承認シタル証據トシテ爰ニ奥書調印スルモノ也

明治十一年七月十九日

大藏卿大隈重信印

大藏省印

大阪株式取引所申合規則

大藏省立總賣上緊要ノ事項

大阪株式取引所申合規則

明治十一年六月十七日大藏省ノ允准ヲ得爰ニ株式取引所ヲ設立シタルニ付賣買上緊要ノ事項ニ於テ總員確守スヘキ規程ヲ議定シタル條々左ノ如シ

第一款

賣買並約定ノ事

第一條 當取引所ノ賣買ハ諸公債證書及諸株式共額面百圓ヲ以テ切手一枚ト定メ一枚以上何枚ニテモ賣買約定ヲ爲スコト得ヘシ
但賣買取組ノ呼價ハ額面百圓ヲ以テシ而シテ舊公債證書ノ如キ其實價現ニ五十圓未滿ノモノハ數箇ヲ併セ凡ソ百圓ニ當ルヲ以テ切手一枚ト定ムヘシ

一 第二條 取引所ニ於テ爲ス所ノ賣買ハ現場定期ヲ二様ニ分ナリシテ

二

定期賣買ト雖トモ本場帳入前ニ於テ之ヲ買戻シ又之ヲ賣戻シ又之
ヲ賣渡シタルハ現場勘定ト爲スヘシ

第三條 當日ノ賣買ハ本場限リ帳入トシ本場引後ノ賣買ハ翌日ノ本
場ニテ帳入ト定ムヘシ

但定期賣買ノ帳入ハ本場ノ平均直段ヲ以テシ又現場ノ勘定ハ取
組直段ニ從フヘシ

第四條 定期約定ノ賣買ハ毎月末ノ日十二月ハ二十五日ヲ以テ仕切日ト定メ
其期限ハ三仕切即チ三ヶ月ヲ踰ヘサルヘシ

第五條 約定期限内甲ヨリ乙ニ賣リシ株式ヲ乙ヨリ甲ニ買戻シ又甲
ノ乙ヨリ買ヒシ株式ヲ甲ヨリ丙ニ賣渡ストキハ其時々賣買授受ノ
手續ヲ了リ損益決算ヲ爲スヘシ

第二款

立會刻限並休日ノ事

第一條 當取引所營業ノ時間ハ毎日午前八時ヨリ午後五時マテノ間
ニ於テシ其開閉ノ時間及ヒ本場立會ノ時間ハ必ス栎ナ鳴シテ之ヲ
報スヘシ而シテ其時間ヲ前後長短スル時ハ必ス三日以前ニ掲示ス
ヘシ

第二條 休業ハ連月日曜日並定式ノ祝日祭日ニ限ルヘシ

第三條 臨時ノ休會又ハ定例ノ休暇ヲ變更スルトキハ時々之ヲ掲示
スヘシ

第三款

賣買證據金ノ事

第一條 賣買双方ヨリ差入ベキ證據金ハ左ノ四様ニ定メ毎日定刻之
レカ出納ヲ爲スヘシ

三

第一本證據金

一 實價五十圓以上六十圓未満ノモノハ 三圓

一同六十圓以上八十圓未満ノモノハ 四圓

一同八十圓以上百圓未満ノモノハ

五圓

餘ハ之ニ準ス

但本日賣買高切手五十枚マテハ翌日正午十二時ヲ限り之ヲ差入レシム其身元金二百圓ヨリ五百圓ヲ差入レアル分ハ此比例ヲ以テ枚數ヲ増加スヘシ

第二半證據金 本證據金ノ半額

但連日ノ賣買差引切手五十枚以内ハ差入ルニ及ハス其以外ノ分ニ對シ即日午後五時マテ(十月ヨリ三月マテノ間)ニ差入シム其身元金二百圓ヨリ三百圓迄ヲ差入アル分ハ此比例ヲ以枚數ヲ増加スヘシ

第三追證據金 本證據金ノ半額

但賣買約定直段ヨリ本證據金ノ半數ニ當ル相場ノ昂低アルトキハ其損方ヨリ此割合ヲ以テ幾回ニテモ追證據金トシテ翌日本場立會マテニ之ヲ差入ルベシ且其日ノ相場ニ荒高下アリテ三圓ノ本證據金ヲ差入レタルモノニ二圓、四圓ノモノニ三圓、五圓ノモノニ四圓ノ昂抵ナ生スルトキハ其損方ヨリハ此追證據金ヲ即日午後四時マテニ差入ルヘシ尤此追證據金ハ相場其元直段ニ復スルトキハ亦之ヲ差戻スベシ

第四增證據金 本證據金ト同額

但約定期日前十日ニ至レハ前ニ賣買取結アル枚數ニ對シ之ヲ差入ルヘシ

六

第二條 相場非常ノ昂低アルカ又ハ仲買人中不穩當ノ賣買ヲ爲スト
認ムルトキハ頭取肝煎ハ決議ノ上特ニ増證據金ヲ差入レシムルヲ
アルヘシ

但此増證據金ハ頭取肝煎ニテ相當ト思量スル高ヲ定メ即日之ヲ
差入レシムベシ

第三條 仕切期限前十日内ニ於テ新ニ賣買約定ヲ爲ス者ハ本證據金
並同額ノ増證據金ヲ一時ニ差入ルヘシ

第四款

手數料並仲買口錢ノ事

第一條 當取引所ノ手數料ハ其賣買金高ニ應シ之ヲ收受スヘキモノ
タリト雖モ條例ノ制限ヲ超ヘサル迄ハ當分ノ内左ノ通相定ムヘシ
定期取引手數料 切手一枚ニ付 金六錢

現場取引手數料 右同 金三錢

但書替其他別段依頼ニ付テノ諸雜費ハ此限ニアラス

第二條 仲買口錢ハ其仲買人ト依頼人トノ示談ニ任スト雖モ取引所
ニ領收スル手數料ニ應シ之ヲ取極メ前以テ肝煎ニ申出テ承認ヲ受
クヘシ

第三條 此手數料並口錢ハ決算ノ時ニ至リ賣買取引ニ關スル他ノ債
主ニ先タツテ之ヲ收受スルヲ得ヘシ

第五款

仲買人心得方ノ事

第一條 仲買人等既ニ賣買ヲ爲シ畢ラハ其約定高及ヒ直段ノ相違等
之レナキ様注意スヘキハ勿論ニ付必ス銘々ノ手帳ト取引所ノ帳記
トヲ引合セタル上退場スヘシ若シ之ヲ怠リ後ニ苦情ヲ申出ルトモ

一切取上ケサルヘシ

第六款

證據金預リ切手ノ事

第一條 當取引所ヨリ賣買人ニ渡スベキ諸證據金ノ預リ切手ハ都テ其約定ヲ爲シタル仲買人ノ名宛タルヘシ

但此切手ヲ抵當トシテ金錢ノ融通ヲ爲スコト許サズ

第二條 證據金預リ切手ハ賣買決算ノ節必ス取引所ニ返付スベシ若シ切手仲買人手元ニテ紛失セハ速ニ取引所ニ届ケ出ツヘシ取引所ニ於テハ其趣ヲ詳記シテ揭示ヲ爲シ置キ約定ノ期限ニ至リ尙發見セサルトキハ假令後日發見スルトモ反古タル旨ノ證書ヲ取りタル上決算出納ヲ爲スベシ

第七款

定期賣買受渡ノ事

第一條 賣買双方ハ受渡期日ノ午後一時ヲ限リトシテ賣方ハ約定ノ公債證書又ハ株式ノ皆高ニ書換又ハ讓與ノ證書等取扱ヘ買方ハ約定直段ニ應スル代金ノ皆高ヲ取引所ニ差出スベシ

第二條 取引所ハ期日ニ於テ賣買双方ヨリ差出シタル公債證書又ハ株式ト代金トヲ預リ即日役員立會ニテ其受渡ノ手續ヲ了ラシムベシ

第三條 取引所ノ受渡シニ用フル諸公債證書ハ必ス大阪府廳ノ管掌ニ屬シ又無記名ナルカ或ハ諸株式ナレハ府下ニ現存スルモノニ限ルベシ而シテ書替方其他受渡シニ差支ヘサル迄ノ手續ハ賣方ニ於テ之ヲ負擔スベシ尤其受渡ニ差支サルベキヲ認メ一旦受渡シテナシタル以上ノ義務ハ其權利ト共ニ買方ニ屬スベシ

但他府縣ノ管掌ニ在ルモノト雖モ本文ノ手續ヲ經ルニ於テハ之ヲ代用スルコト得ヘシ

第四條 諸公債證書等ノ受渡ニ於テハ賣買人双方直接ノ證書ヲ以テ受授スヘキハ勿論ト雖モ其時宜ニ依リ賣方ハ元持主ヨリノ委任狀又買方ハ他ニ轉賣ノ名指人ヲ以テ其手續ヲ了ルコト得ヘシ

第五條 官廳並諸會社ノ成規ニ於テ公債證書株式等ノ書替ヲ停止シタル時間ニ取結フ現場取引ハ其賣人ヨリ買方ノ相當ト思量セル文體ノ利子割賦金等請取代理ノ委任狀及公債證書株式書換委任狀等ヲ添テ之ヲ取引所ニ差出スヘシ其定期約定ニシテ書換停止限内期日ノ至ルモノモ又同様ノ手續タルベシ

第八款

臨時休會ノ事

第一條 當取引所非常ノ變災ニ罹ラハ七日以内ニ假取引所ヲ設ケ接續賣買ヲ爲サシムベシ

第二條 右事故ニ由リテ休業スルトモ日數七日以内ハ休暇日ヲ休業前ノ取組ニ接續シテ賣買スベシ万一千八日以外ニ至ルトキハ既ニ賣買約定ヲ爲セル高ニ對シ本證據金同額ノ増證據金ヲ双方ヨリ差入レ置カシムヘシ

但休業中雙方ノ示談ニテ先ニ約定シタル分ニ據リ買戻シ又賣渡ヲ爲スハ妨ナシト雖モ必ス取引所ノ承認ヲ受クベシ

第九款

違約處分ノ事

第一條 賣買主ニ於テ若シ定規ノ諸證據金ヲ忘リ定刻ニ差入サルモノハ之ヲ違約人ト做シ肝煎ハ次ノ二十四時間ニ他ノ仲買人ヲシテ

賣方ノ違約ナレハ其賣買高ヲ取引所ノ市場ニ於テ買求メサセ又買
方ノ違約ナレハ之ヲ市場ニ賣拂ハセ其不足金並夫カ爲メ蒙リタル
相手方ノ損失ヲ合セ其賣買ニ對シタル證據金並ニ其者ノ身元金ヲ
以テ之ヲ償ハセ且此者前キニ既ニ證據金ヲ差入アル定期約定アレ
ハ都テ之ヲ上文ノ手續ニ付シ其相手方ヘ對シ之カ償チ爲サシメ尙
餘金アレハ前ノ證據金ヲ差入レサル時ハ其違約人ヲ相手取公裁チ仰クヘシ
被損者ニ於テ尙満足セサル時ハ其違約人ヲ相手取公裁チ仰クヘシ
但仲買人半證據金ヲ差入ル、ニ及ハサル株式高ヲ一日ノ内ニ幾
度モ賣買ナシ自然損金ヲ生シ之ヲ差入レサルモノハ身元金限り
相手方ヘ配賦シ之ヲ満足セサルモノハ本條ノ如クナルヘシ又違
約人ノ兼テ差入アル證據金ニテ相手方ノ損害ヲ償ヒ餘金アレハ
差戻シ身元金ハ取引所ニ沒入スベシ又半證據金ヲ差入ヘキ當日

ニ之ヲ差入レスシテ違約ノ處分ニ及ハントスルニ當リ取引所ノ
市場時間相後シ実施シ難キ場合有之トキハ翌日ノ本場マテニ之
ヲ爲サシメ而シテ若シ其計算上相手方ノ損毛トナラス却テ違約
者ノ利得トナルトキハ之ヲ本人ニ返付スヘシト雖モ其者
ハ違約人タルヲ免ルヲ得サルヘシ

第二條 受渡ノ期日定刻ニ至リ其株式又ハ代金ノ差出方ノ意リ違約
人トナリタルトキハ其相手方ニ於テ之カ爲メ失ヒタル利益ト蒙リ
タル損耗トヲ合算シ其者ノ證據金身元金ヲ以テ之ヲ償ハシムヘシ
若シ其相手方ニ於テ満足セサルアレハ違約者ヲ相手取公裁チ仰
クヘシ又之ヲ双方ニ於ア意ル片ハ其約定ハ効ナキモノト爲スト雖
トモ取引所ニ於テハ共ニ之ヲ違約人ト看做スヘシ

四十

ヒ發顯シタル時ハ違約人ノ例ヲ以テ之ヲ處分スベシ

第四條 凡ソ取引所ニ於テ違約ノ處分ニ及フモノハ之ヲ除名シ且其身元金ノ殘餘アレハ之ヲ沒收スヘシ

第十款

規則遺漏ノ件及増減更正ノ事

第一條 此申合規則ニ掲載スル條件實際不便ナルトアルカ又ハ遺漏ノ件アルトキハ肝煎ノ衆議ヲ以テ之ヲ補正シ官ノ許可ヲ得テ施行スヘシ

右取極メタル申合規則ハ當取引所營業上何レモ確守スヘキ證據トシテ株主並仲買一同記名調印致シ候也

明治十一年七月十日

株主
仲買人
姓名
印

前書之通相違無之候事

明治十一年七月十一日

大阪府知事渡邊昇印

右申合規則ノ件々ハ之ヲ認承シタル證據トシテ爰ニ奥書調印スルモノ也

明治十一年七月十九日

大藏卿大隈重信印

大藏省印

正

誤

創立証書

四丁二行(九小區)高麗橋ハ(四小區)ノ誤

五丁二行(本五番地)ハ(六十五番地)ノ誤

十四丁三行(務義)ハ(義務)ノ誤

申合規則

四丁七行五百圓ノ下(マテ)ノ二字ヲ加フ

四丁十二行(三百圓)ハ(五百圓)ノ誤

十四丁三行(身元ノ金)身元金)ノ誤

同

同

定

欵

・・・・・・・・・・・・・・・・

本資料は、大阪商工会議所所蔵の「五代友厚関係文書」収録資料のうち、
お問い合わせの多いものを抜粋し公開するものです。

資料を複製使用する場合は、あらかじめ申請書を提出し許可を受けていた
だく必要があります。

手続きにつきましては、下記事務局までご連絡いただきますようお願いい
たします。

【事務局】 大阪商工会議所 大阪企業家ミュージアム

〒541-0053 大阪市中央区本町 1-4-5 大阪産業創造館 B1F

TEL 06-4964-7601 FAX 06-6264-6011

museum@osaka.cci.or.jp

・・・・・・・・・・・・